

**「デカボチャレンジ 2025 summer」における岩手県に対する学生提案の内容について**

本資料は、令和7年度に開催された「デカボチャレンジ 2025 summer」において、3つの学生チームから岩手県に対して提案された内容について、発表資料を基に整理したものである。本事業における行動変容モデル構築においては、以下の各提案に含まれる構成要素、考え方等を、参考情報として活用することを想定している。

※以下の各提案内容をそのまま事業として実施することを前提とするものではないこと。

**A チーム提案****「地産地消、食べ残し削減のため、親子で食のデカボを実践できる二人三脚型スタンプラリー」**

地産地消および食べ残し削減といった食分野における脱炭素行動を、家庭内で実践することを内容とする事業であり、具体的には、「いわてデカボ食育ラリー」と題し、県内のスーパーマーケット等の小売店舗と連携し、連携店舗の来店者にスタンプカードを配布する。当該店舗で対象となる地産地消商品を購入した参加者が、家庭で食事を行い完食し、家庭内でカードにスタンプを押し、これを店舗で回収する。スタンプカードを提出した参加者を対象に抽選でビール醸造所での見学・乾杯体験を行う。これらの体験を通じ、親子での脱炭素に向けた行動変容を促すという内容が示されている。当該取組による効果として、地産地消と食べ残し削減による家庭ごみ排出量削減によるCO<sub>2</sub>削減効果の試算が示されている。

**B チーム提案****「環境教育のため、小学生の運動会でできる、注文の多いチャンスレース」**

若年層や家族世帯に対する脱炭素への意識向上を図ることを目的に、環境教育として小学校の運動会の競技プログラムの一部として、脱炭素をテーマとした競技を実施する事業。具体的には、岩手県庁、県内小学校のモデル校、教育委員会とプロジェクトチームを組成し、小学校で開催される運動会の競技として、環境や脱炭素に関する要素を組み込む競技を「注文の多いチャンスレース」と題して検討し、マニュアルやツールキットを開発する。その後、モデル校での先行実施を行い、効果検証を踏まえ、県内全小学校に展開するという内容が示されている。

**C チーム提案****「移動に係るCO<sub>2</sub>を削減するため、岩手の自然の中で行う野外映画フェス」**

移動に伴うCO<sub>2</sub>排出の削減に着目し、岩手県内の自然環境を活用して実施する野外映画フェスを事業として構成したものである。屋外に設置したスクリーン等を用いて映画上映を行うイベント形式とされており、参加者の移動やイベントの運営に伴うエネルギー使用を含めた形で脱炭素を捉える内容として示されている。